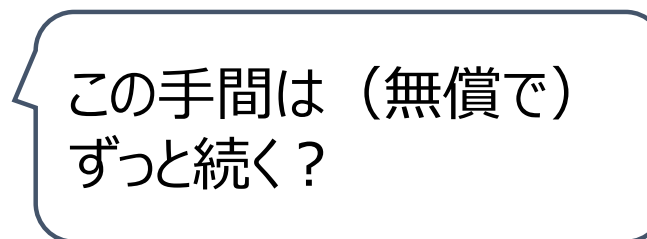
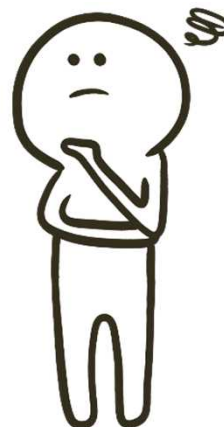
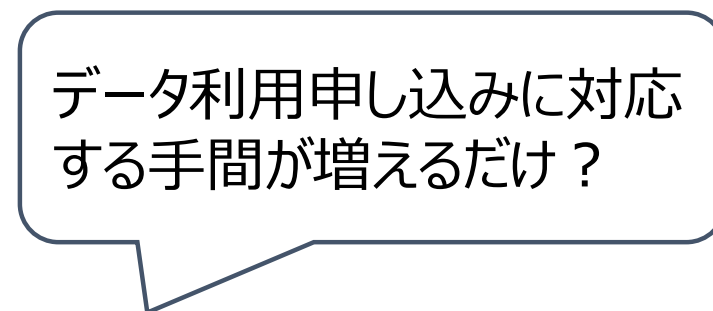
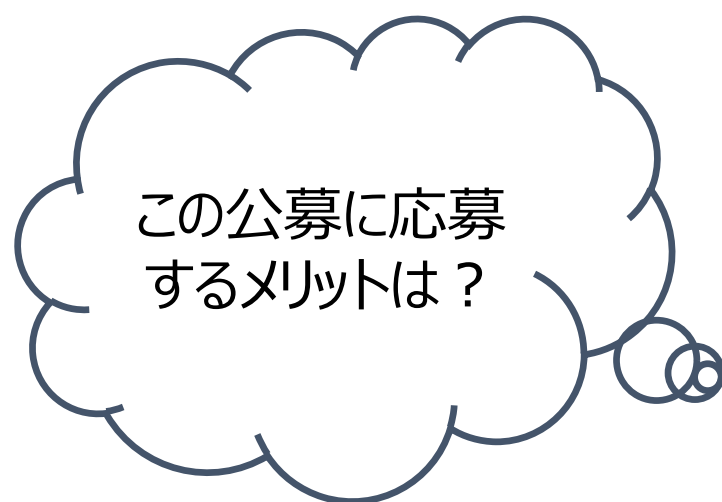


令和 8 年度 健康・医療研究開発データ統合利活用 プラットフォーム事業公募

締切：令和 8 年 2 月 2 日（月）正午

日本医療研究開発機構（AMED）
データ利活用・ライフコース研究開発事業部 データ利活用推進課
健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム事業事務局
公募担当 koubojimu_cannds@amed.go.jp

本公募は、AMEDの他の公募とは異なり、研究開発自体を支援するものではなく、その研究開発から得られたデータの二次利用を促進するためのものです。そのため、既に実施されたAMED支援研究課題をお持ちの研究者のうち、AMEDデータ利活用プラットフォームCANNDsにそのデータを連携していただける先生を募集するものです。



データ提供者のメリット・インセンティブ



- ✓ **公募に採択されたことにより**
 - 研究課題や研究者の認知度・プレゼンスが向上
 - データ利活用に必要となるデータクリーニングの資金を獲得
- ✓ **当事業が実施する広報活動の対象となることにより**
 - 民間企業を含むデータ利用希望者を集めた研究会やイベント（AMED実施）にて、異業種・異分野のデータ利用希望者との出会いを加速
 - データの二次利用（共同研究等）により、さらなる研究促進・展開が可能
- ✓ **当事業のサービスを優先的に利用でき、データ利活用に伴う業務負担を軽減できる**
 - データ利用者からの問い合わせには、AMED事務局が一次窓口として対応
 - データ利用審査は、AMEDデータ利用審査会に委託可能（手続き整備中）
 - MRI等の脳画像データについて、研究やプレリサーチに有用な画像特徴量データの追加費用（イメージングCRO委託費）を当事業が負担（調整中）

事業及び公募課題の紹介



-事業の概要-

「健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム事業」は、**AMED が支援した研究開発から生み出されたデータの利活用を促進する事業**です。AMED は、政府の健康・医療戦略に基づき、AMED が支援した研究から生み出されたデータを、研究や疾病予防、医薬品・医療機器等の開発等の目的において第三者に提供することで、これらデータが幅広く利活用されるよう AMED データ利活用プラットフォーム（呼称「CANNDs」）を構築し、利用者目線に立って、わかりやすく使いやすい手続きやインターフェースを整備します。

-事業実施体制-

PS（プログラムスーパーバイザー）

小林憲明 一般財団法人バイオインダストリー協会 参与

PO（プログラムオフィサー）

北川雄光 慶應義塾 副学長、常任理事／医学部外科学教授

岡田美保子 一般社団法人医療データ活用基盤整備機構 代表理事

AMEDにおけるデータ利活用促進の取組：全体像

AMEDが支援した研究開発から得られたデータの利活用を促進するため、以下の関連文書を整備し、また利活用促進の方策としてAMED研究開発データ利活用カタログ、及び、AMEDデータ利活用プラットフォームの構築を進めている

促進のためのルール

AMEDにおける研究開発データ取扱の基本方針（令和3年11月制定、令和5年9月改訂）※1

AMED研究開発データ利活用に係るガイドライン（令和3年11月制定、令和5年9月 2.1版に改訂）※2

データマネジメントプラン（DMP）様式（令和5年9月 ver5.0に改訂）

AMED説明文書用モデル文案（令和5年7月）※3

促進の方策

AMED研究開発データ利活用カタログ （令和5年11月 2.0版公開）

DMPに記載された各研究課題のデータ内容を取りまとめ、AMED研究開発データに関するカタログ

AMEDデータ利活用プラットフォーム （令和6年3月一般受付開始）

令和6年度は、AMED支援から得られた3大バイオバンクのゲノムデータを利活用するためのプラットフォームを提供

※1 AMEDが支援した研究課題の研究開発データの取扱いについてAMEDの考え方・方針を示したもの

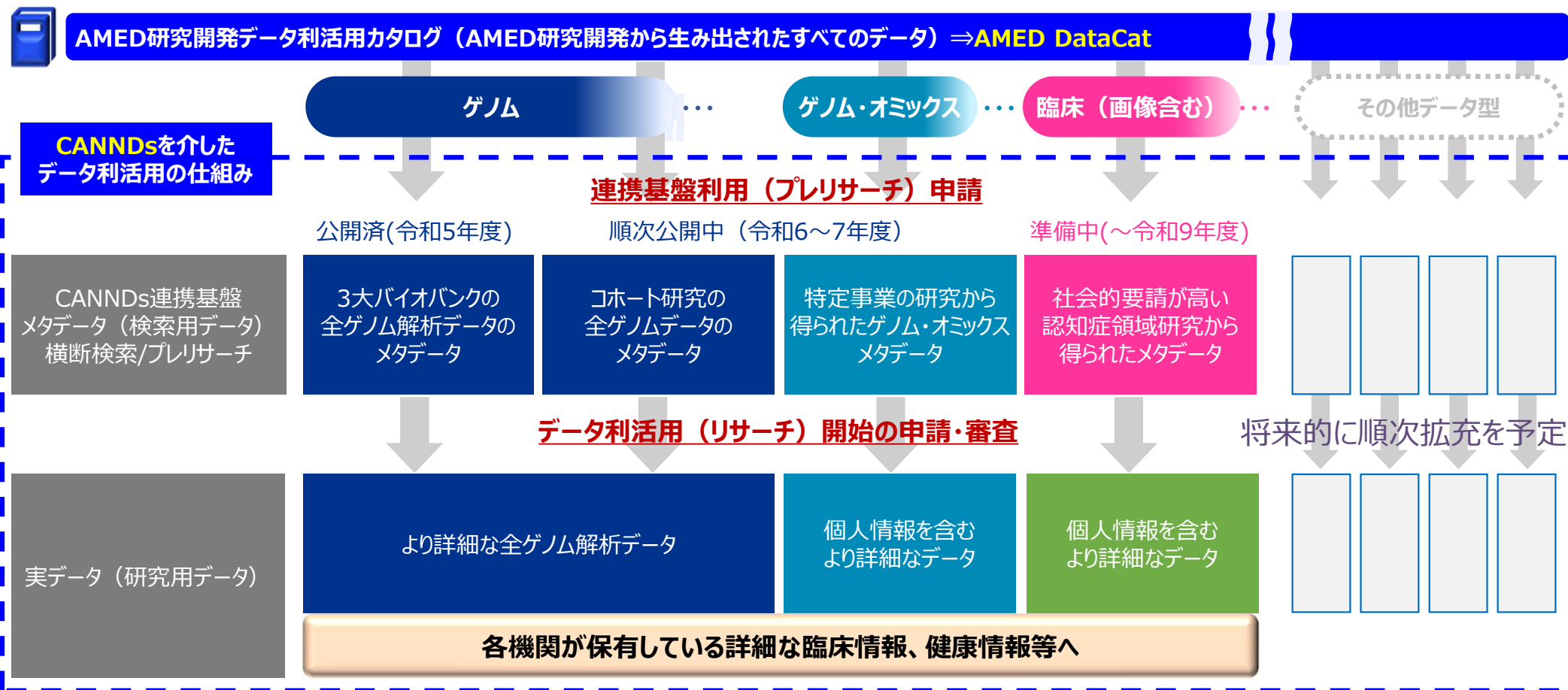
※2 データ公開・共有のための方法・運用、データマネジメントプラン（DMP）の機能や項目の説明、データの第三者提供に必要な手続きを示したもの

※3 AMED が支援する研究において、研究者が新規に人の試料や情報の取得を開始する場合に、説明文書に盛り込むべき項目をまとめたもの

AMEDにおけるデータ利活用促進の取組

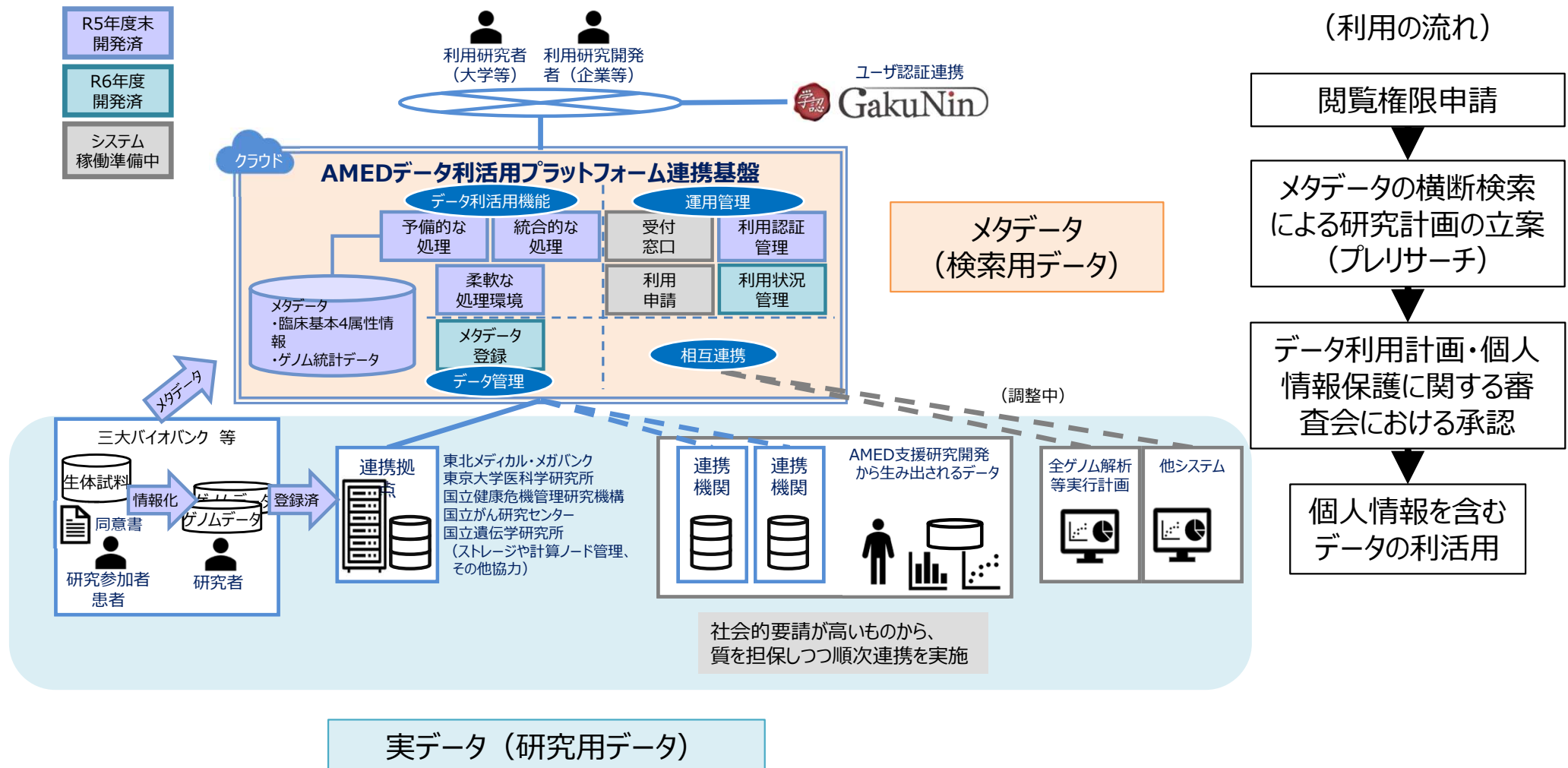
研究や疾病予防、医薬品・医療機器の開発等を目的とした、AMED研究開発データの幅広い利活用を促進

申請不要（誰でもアクセス可能）



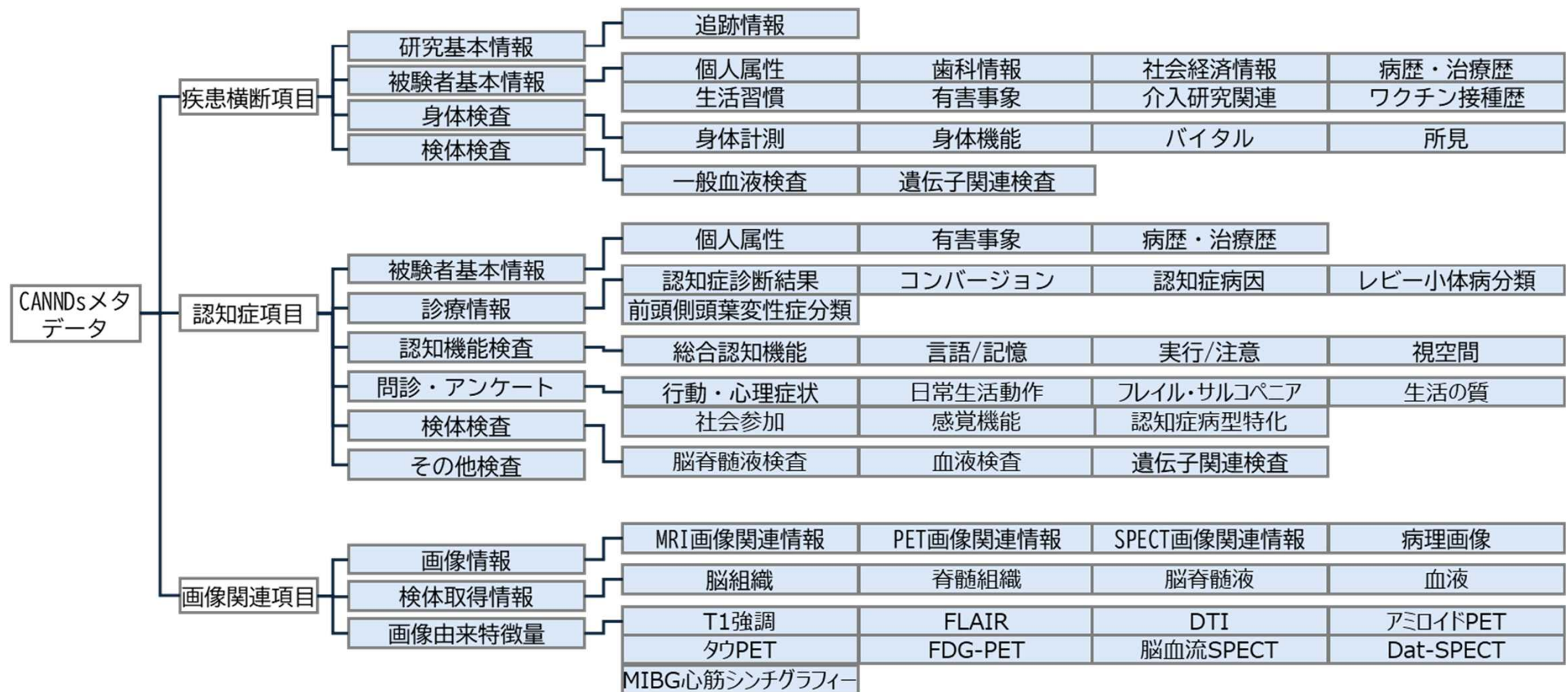
➤ 内閣府：研究DXの取組より「(1)信頼性のある研究データの適切な管理・利活用促進のための環境整備」

AMEDデータ利活用プラットフォーム（CANNDs）



臨床画像データ（認知症）を対象。令和9年度より利用開始予定。

メタデータ（検索用データ）の構成



メタデータ（検索用データ） 【疾患横断項目の例】

被験者基本情報	個人属性	性別		カテゴリ変数	1 = 男性、2 = 女性、3 = その他		
		年齢		数値変数	数値入力		
		利き手		カテゴリ変数	1 = 右利き、2 = 左利き、3 = 両利き		
		第一言語		カテゴリ変数	1 = 日本語、2 = 英語、3 = その他		
		子どもの数		数値変数	数値入力		
			子どもの定義		1 = 実子のみ、2 = 実子およびその他を含む、3 = 区別不可		
		閉経の有無		カテゴリ変数	1 = 閉経前、2 = 閉経後		
	生活習慣	喫煙習慣		カテゴリ変数	1 = はい（現在喫煙している）、2 = 以前は吸っていたが、現在は吸っていない、3 = いいえ（喫煙歴なし）		
		飲酒習慣（頻度）		カテゴリ変数	1 = 毎日、2 = 週5～6日、3 = 週3～4日、4 = 週1～2日、5 = 月に1～3日、6 = 月に1日未満、7 = やめた、8 : 飲酒しない		
		飲酒習慣（量）		カテゴリ変数	1 = 1合未満、2 : 1～2合未満、3 = 2～3合未満、4 = 3～5合未満、5 = 5合以上		
		睡眠習慣			1 = データ取得有		
	身体検査	身体計測	食習慣			1 = データ取得有	
			運動習慣			1 = データ取得有	
			身長		数値変数	数値入力	
			体重		数値変数	数値入力	
		身体機能	BMI		数値変数	数値入力	
			握力		数値変数	数値入力	
			視力		数値変数	数値入力	
			聴力		数値変数	数値入力	
			四肢筋肉量		数値変数	数値入力	
			骨格筋量指数（SMI）		数値変数	数値入力	
			生化学的検査	蛋白(TP)		数値変数	数値入力
				アルブミン		数値変数	数値入力
				クレアチンキナーゼ(CK)		数値変数	数値入力
				AST(GOT)		数値変数	数値入力
				ALT(GPT)		数値変数	数値入力
				g-グルタミルトランスペプチダーゼ(g-GT)		数値変数	数値入力

メタデータ（検索用データ） 【認知症項目の例】

被験者基本情報	個人属性	認知症家族歴(両親)		カテゴリ変数	1＝認知症家族歴無し、2＝アルツハイマー病、3＝レビー小体病 4＝前頭側頭葉変性症、5＝ハンチントン病、6＝進行性核上性麻痺、7＝大脳皮質基底核変性症、8＝脳血管障害、9＝プリオン病、10＝正常圧水頭症、11＝その他、12＝不明
		スタディパートナーの有無			1＝データ取得有
	病歴・治療歴	認知症合併症			コード入力
		認知症発症年			1＝データ取得有
		認知症治療薬			コード入力
診断情報	認知症診断結果			カテゴリ変数	1＝健常、2＝MCI、3＝認知症
	認知症病因			カテゴリ変数	1＝アルツハイマー病、2＝レビー小体病、3＝前頭側頭葉変性症、4＝ハンチントン病、5＝進行性核上性麻痺、6＝大脳皮質基底核変性症、7＝脳血管障害、8＝プリオン病、9＝正常圧水頭症、10＝その他、11＝不明
	レビー小体病分類			カテゴリ変数	1＝レビー小体型認知症、2＝認知症を伴うパーキンソン病、3＝不明
	前頭側頭葉変性症分類			カテゴリ変数	1＝行動障害型前頭側頭型認知症、2＝意味性認知症、3＝進行性非流暢性失語症、4＝不明
認知機能検査	総合認知機能	MMSE		数値変数	数値入力
		MMSE-J		数値変数	数値入力
	言語/記憶	Wechsler記憶尺度改訂版（WMS-R）の論理的記憶I		数値変数	数値入力
		言語流暢性課題		数値変数	数値入力
	認知症病型特化	レビー小体病	SCOPA-AUT	数値変数	数値入力
			睡眠の状態に関する質問（RBDSQ）	数値変数	数値入力
			統合パーキンソン病評価尺度（UPDRS）		1＝データ取得有
検体検査	脳脊髄液バイオマーカー	アミロイドβ(1-42)		数値変数	数値入力
		アミロイドβ(1-40)		数値変数	数値入力
		アミロイドβ(1-42)/(1-40)比		数値変数	数値入力
		タウ蛋白		数値変数	数値入力
		181位リン酸化タウ蛋白		数値変数	数値入力
	遺伝子関連検査	APOE遺伝子型		カテゴリ変数	1＝ε2/ε2型、2＝ε2/ε3型、3＝ε2/ε4型、4＝ε3/ε3型、5＝ε3/ε4型、6＝ε4/ε4型

メタデータ（検索用データ） 【画像項目の例】

画像情報	MRI画像関連情報	T1強調			1=データ取得有
		撮像タイプ(2D/3D)			1=2D、2=3D
		FLAIR			1=データ取得有
			Fazekas分類(脳室周囲 カテゴリ変数 白質病変)		1=グレード0、2=グレードⅠ、3=グレードⅡ、4=グレードⅢ、5=グレードⅣ
			Fazekas分類(深部白質 カテゴリ変数 病変)		1=グレード0、2=グレード1、3=グレード2、4=グレード3、5=グレード4
			撮像タイプ(2D/3D)		1=2D、2=3D
		MRI撮像条件	ベンダー名		1=GE HealthCare、2=Canon、3=Siemens、4=Philips、5=Fujifilm、6=その他
			機種名		DICOMタグ情報を転記
			磁場強度		1=1.5T未満、2=1.5T、3= 3.0T、4= 7.0T、5=その他
	PET画像関連情報	アミロイドPET			1=データ取得有
		アミロイドPET撮像条件	読影結果	カテゴリ変数	1=陰性、2=陽性
			ベンダー名		1=GE HealthCare、2=Canon、3=Siemens、4=Philips、5=Shimadzu、6=United Imaging Healthcare、7=その他
			機種名		DICOMタグ情報を転記
			PET薬剤		コード入力
検体取得情報	脳組織	組織ブロック			1=データ取得有
		組織切片			1=データ取得有
	脊髄組織	組織ブロック			1=データ取得有
		組織切片			1=データ取得有
	脳脊髄液血液				1=データ取得有
					1=データ取得有
画像由来特徴量	T1強調	体積	頭蓋内	数値変数	—
			全脳	数値変数	—
		頭蓋内体積に対する体積比	全脳	数値変数	—
			灰白質	数値変数	—
	FLAIR	白質高信号体積	全脳	数値変数	—
			脳室周囲	数値変数	—
			深部白質領域	数値変数	—
		頭蓋内体積に対する白質高信号体積比	全脳	数値変数	—
			脳室周囲	数値変数	—
			深部白質領域	数値変数	—

CANNDsが求めるメタデータ（検索用データ）の項目、単位、形式は、本公募及び本事業のウェブサイトに掲載されています。

-公募ページの掲載-

https://www.amed.go.jp/koubo/03005/03/B_00001.html

[トップ](#) > [公募情報](#) > 令和8年度「健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム事業」に係る公募について

公募情報

令和8年度「健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム事業」に係る公募について

資料

- ▶ [公募要領...令和8年度健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム事業](#) PDF
- ▶ [...\(様式1\) 研究開発提案書](#) Word
- ▶ [...\(様式1別紙\) メタデータ（検索用データ）として提供できる項目](#) Excel



-事業ページの掲載-

<https://www.amed.go.jp/program/list/14/04/cannds-submission.html>



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

[調査情報](#) [採用情報](#) [公開情報](#) [アクセス](#) [問合せ先](#) [メルマガ登録](#)

[AMEDについて](#) [事業紹介](#) [事業成果](#) [公営情報](#) [事務手続](#) [ニュース](#) [イベント](#) [刊行物](#)

[トップ](#) > [事業紹介](#) > [データ利活用・ライフコースプロジェクト](#) > [健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム事業](#) > [CANNDsへのデータ提供について](#)

健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム事業

AMEDデータ利活用プラットフォーム (CANNDs)
CANNDsへのデータ提供について

[CANNDsホーム](#)

[CANNDsとは](#)

[CANNDsで出来ること](#)

[利用出来るデータ](#)

[想定活用事例](#)

[ご利用の流れ・利用申請](#)

[ログイン方法](#)

[ニュース](#)

[イベント](#)

[よくあるご質問・お問い合わせ](#)

[CANNDsへのデータ提供について](#)

CANNDsへのデータ提供は、当事業が実施する公募で採択された研究課題が対象となります。

[AMED データ利活用プラットフォームで利活用するデータの必要条件](#) [CANNDsが求めるメタデータ（検索用データ）の項目、単位、形式](#)

[メタデータ提供の際に必要な手続きについて](#)

AMED データ利活用プラットフォームで利活用するデータの必要条件

AMED データ利活用プラットフォームで利活用するデータの必要条件は、下記の通りです。

- ① 原則として、AMED 研究開発から生み出されたデータであること。
- ② 学術利用や商業利用等の目的に関わらず、実データ（研究用データ）の第三者提供に関する同意を得ていること。
- ③ データ提供機関が実データ（研究用データ）の保存・管理を行っており、実データ（研究用データ）の提供が可能であること。
- ④ AMED が定めるメタデータ（検索用データ）の提供が可能であること。
- ⑤ AMED の委託・補助事業を実施する研究開発代表者名及び代表研究機関名が明示されていること。
- ⑥ データベース運用責任者、データセット管理責任者、又は左記に準じる者が定められていること。
- ⑦ 研究開発の目的及び範囲に応じた、法令、倫理指針を遵守した研究から生み出されたデータであること。
- ⑧ データ取得に関するプロトコルの参照先（標準、ガイドライン、論文、データリポジトリ等）が明示されていること。

CANNDsが求めるメタデータ（検索用データ）の項目、単位、形式

CANNDsは、利活用対象とするデータを横断検索して、プレリサーチ（研究計画の立案）ができることが大きな特徴であり、そのために当該データのメタデータ（検索用データ）を提供していただく必要があります。

メタデータ（検索用データ）作成の際に当事業が求めるファイル形式は[こちら](#) **Excel** になります。

できる限り多くの項目を提供いただけるようお願いいたします。

メタデータ提供の際に必要な手続きについて

[メタデータ共有に係る覚書（雛形）](#) **PDF**

その他 手続きの詳細は準備中

メタデータ（検索用データ）として提供できる項目の示し方

[000154202.xlsx](#)

項目						メタデータ（検索データ）登録可否 （※データ登録可能な項目に✓を入れる）	欠損率【欠損症例数／全症例数】 （※プルダウンリストから選択）
#	Lv.1	Lv.2	Lv.3	Lv.4	Lv.5		
1	疾患横断項目	研究基本情報	追跡関連	追跡年数		✓	~20%
2				追跡開始年月			
3				追跡終了年月			
4			介入研究関連	介入内容		✓	~40%

<例>

「追跡年数」と「介入内容」についてメタデータを提供でき、「追跡年数」のデータ欠損率は20%以下、「介入内容」のデータ欠損率は40%以下、である場合の入力例を示す。

提案書作成時にご留意いただきたいこと！

本公募趣旨に該当する用途のみ、研究費を計上できます

- データベース運用経費には支出できませんが、一時的にデータセットを保管するハードディスク費用は計上できます。
- データ抽出費用は計上できます。

申請手続き等

- 申請書類の入手方法 -

本公募に関する書類を下記ウェブサイトからダウンロードしてください。

https://www.amed.go.jp/koubo/03005/03/B_00001.html

- ① 令和 8 年度公募要領.pdf
- ② 様式1 研究開発提案書.docx
- ③ 様式1別紙 メタデータ（検索用データ）として提供できる項目.xlsx

- 申請書類の提出方法 -

■ 府省共通研究開発管理システム (e-Rad)からご応募ください。

<https://www.e-rad.go.jp/>

- 必ず研究開発代表者のアカウントで申請してください。
- e-Radを利用するには、事前に機関登録や研究者登録が必要です。登録手続きに日数を要する場合があるので、2週間以上の余裕をもって登録手続きしてください。
- 「研究開発代表者」から所属機関にe-Rad で申請した段階では応募は完了していません。所属機関の承認の手続きを必ず行ってください。
- e-Radの操作方法に関するマニュアルは e-Rad ポータルサイトから参照又はダウンロードすることができます。
- システムの操作方法に関する問い合わせは e-Rad ポータルサイトのヘルプデスクにて受け付けます。

締切：令和8年2月2日（月）正午

全ての研究開発提案書等について、期限を過ぎた場合には一切受理できませんので注意してください。

また、e-Rad以外の方法（E-mail、郵送、持ち込み、等）による提出は受け付けません。

- お問い合わせ先 -

- 公募事業課題、評価、提案書類の記載方法等についての照会は、下記アドレスまでメールでお願いします。

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

データ利活用・ライフコース研究開発事業部

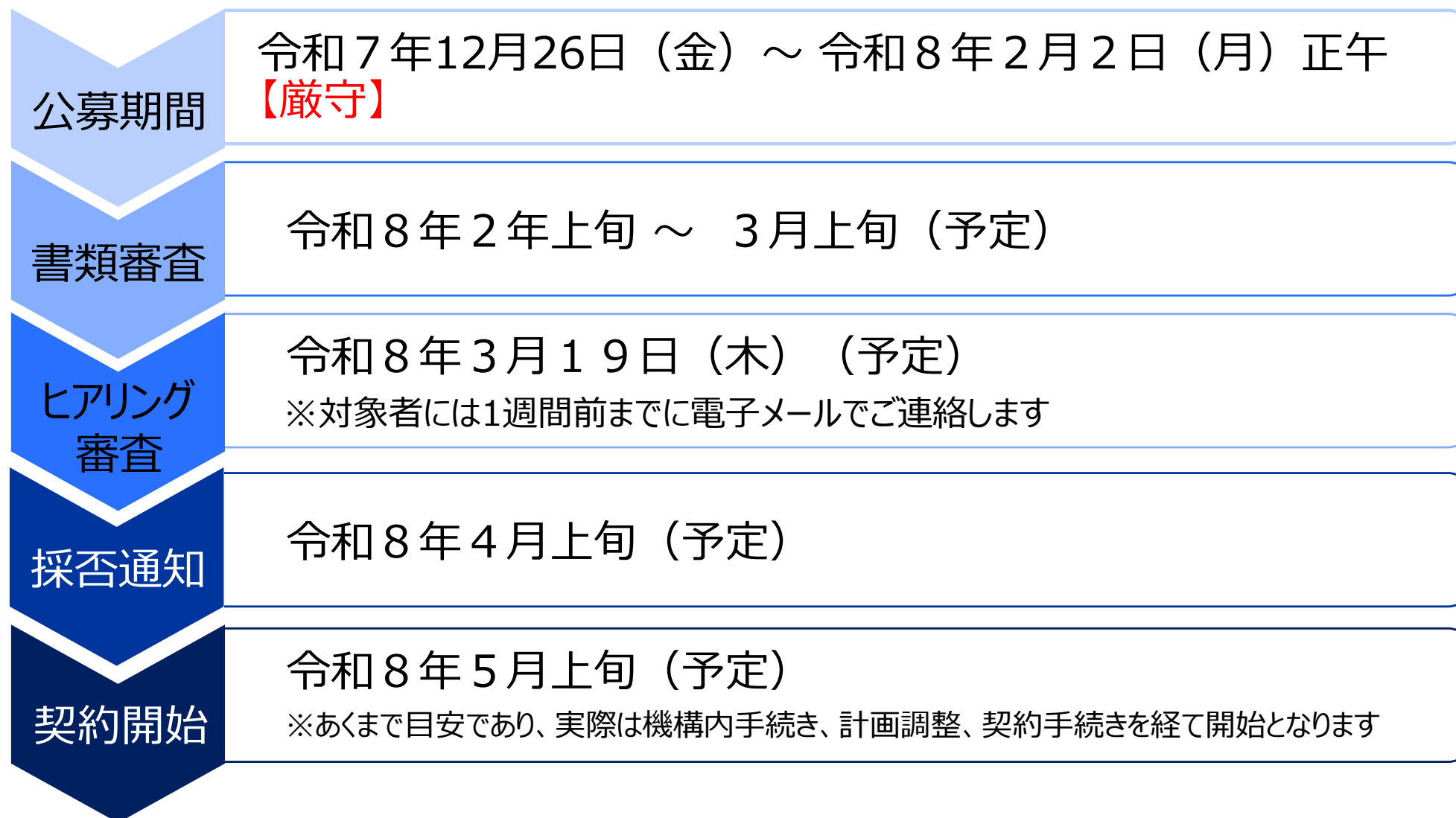
データ利活用推進課課 公募担当

koubojimu_cannds@amed.go.jp

- いただいたご質問はFAQに掲載して公開することがございます。掲載の際には、個人を特定できないよう加工いたします。
- 情報の更新がある場合はAMEDウェブサイトの公募情報に掲載します。併せてご参照ください。

https://www.amed.go.jp/koubo/03005/03/B_00001.html

- 公募期間・選考スケジュールについて -





«本事業、応募手続き等に関する問い合わせ先»

日本医療研究開発機構（AMED）
データ利活用・ライフコース研究開発事業部 データ利活用推進課
健康・医療研究開発データ統合利活用プラットフォーム事業事務局
公募担当 koubojimu_cannds@amed.go.jp